

2023年度 第3回 地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会 議事録

- 1 日 時 2023年8月1日(火) 午後2時00分から午後3時30分
- 2 場 所 明石市立市民病院本館2階 講義室
- 3 出席者 (評価委員会)
明石純委員長
日下孝明副委員長
中田精三委員
工藤美子委員
武田英彦委員
- 4 会議次第 (1) 開会
(2) 議事
・2022事業年度及び第3期中期目標期間にかかる業務実績の評価について
(3) その他
(4) 閉会

<資料>

資料 1-1…2022事業年度及び第3期中期目標期間に係る業務実績 評価一覧表

資料 1-2…第3期中期目標期間における評価の推移

資料 2…2022事業年度及び第3期中期目標期間に係る業務実績に関する評価結果(案)

資料 3…2022事業年度に係る業務実績の小項目に関する評価結果(案)

資料 4…第3期中期目標期間に係る業務実績の小項目に関する評価結果(案)

(1) 開会	・開会の宣言
(2) 議事 委員長	まずは、2022 事業年度の総評部分について、事務局から、とりまとめ案の説明をお願いします。
市事務局	資料 1～2 に基づき、2022 事業年度の(1)総評について説明。
委員長	何かご意見はあるか。
委員	資料 2 の 5 ページ「高度な総合的医療の推進」の評価結果のコメントで、救急お断り率が上がった背景として、コロナ患者の急増や様々な制限下が「やむを得ない状況」と表現されている点が気になる。評価をする上で、例えばもう少し具体的な状況を入れるなど、分かりやすく表現するほうがいいのではないか。
法人	「医療従事者のマンパワーが不足している状況」としてもいいと思う。
委員	また、お断り率が上がったことについて、立てた計画に対して結果がどうだったのかを評価すべきであり、“事情は理解できるものの”というニュアンスの表現でつなげるのが望ましいのではないか。
委員長	事務局においては、そのあたりの表現の修正をお願いします。
委員	2 ページ下から 12 行目「法人設立後最大の黒字となった」の「黒字」と、3 ページ下から 4 行目の「独法設立後最大となる純利益」の「純利益」について、用語の使い分けに意図があるのか。
委員長	<p>医業収支が黒字になったという印象を与えると正確ではないので、「経常利益が黒字」という表現が適切である。表現については、後日、調整するとして、他になければ、議事を次に進めたい。</p> <p>2022 事業年度の(2)評価委員からの意見・今後に向けての提言等について事務局から説明をお願いします。</p>
市事務局	資料 2 に基づいて説明。
委員長	各委員の意見の内容について、実績、収支、管理運営など項目が混在しているので、整理が必要だと思う。
委員	資料 2 の 4 ページ 3 項目めの「労働生産性の向上」に関する試みについては、さらなる推進が必要となる。」という部分について、医療現場で働いている職員の受け取り方が気になる。
委員長	労働生産性や、医業収支等は、あくまで会計上の数値として、管理部門は意識する必要があると思うが、医療現場の職員については、“効率良くすること”や“無駄を無くすこと”を意識することで十分だと思う。
法人	業務でも ICT 等を活用した効果的、効率的な業務を推進していくことによって、おのずと労働生産性は上がってくるものと思うが、反面、医療現場はマンパワーが必須なので、なかなか労働生産性につながりにくいところもある。できるところから改善していきたい。
委員	医師の働き方改革の関係で、年間の残業時間が問題となるが、効率性が求

	<p>められるあまり、極端なケースとして、診療時間の短縮等により、診療を断らざるを得ないというようなことにもなりかねない。</p> <p>今は、医師の使命感により、患者の要望に応えるために頑張っておられると思うが、今後、そのようなことが認められなくなってくると思う。</p> <p>法人としては、どのようなビジョンを持っているか。</p>
法人	<p>繁忙な診療科とそうでない診療科の差異を均して、生産性を上げていくのが今後の課題だと認識している。例えば、整形外科5人の医師で70人の患者を診ているが、急性期のオペ後の回復期における全身観察など総合的な部分は内科の医師に担ってもらうなど、診療科連携を更に強化して効率を上げていきたいと考えている。</p>
法人	<p>組織全体として労働生産性を上げるということは当然だが、やはり、医療現場によっては、この概念がそぐわないというのは確かにある。</p> <p>できれば、医療職や診療科に対してではなく、“組織としての労働生産性”として捉えてもらえたらよいと思う。</p>
委員長	<p>診療科によっては、難しい部門もあるということで理解した。</p> <p>どういう表現が適切かは、別途、検討したいと思う。</p> <p>他に、何かご意見はないか。</p>
委員	<p>評価委員は、年度計画には関与せず、成果のみをみて評価するので、前年度の計画段階で“具体的に何をしようと考えているのか”という内容を明確にしてもらえたほうが、「計画通り」や「計画を上回った」など、確認や評価がしやすくなると感じる。</p>
委員長	<p>評価委員会における評価という観点だけでなく、法人内部での検証にも役立つことであるため、ぜひ検討してほしい。</p>
委員	<p>資料2の4ページ5項目めの「今後も対応が必要な新興感染症対策」について、医療スタッフがやるべき医療的な対応は決まっていると思うので、病室を個室にするなどハード面の対策以外、具体的な対策のイメージが難しい。</p>
委員長	<p>ハード面については、病院を建て替えるとしたら、対応できる部分もあるが、現状の導線の確保等ソフト面での対策もあると思う。法人はどうか。</p>
法人	<p>できることとしては、導線を複数用意して、感染症対応を完全に隔離するという。もう一つは、現在の医療の流れとしても、可能な限り個室化していく方向性で考えている。</p> <p>新興感染症対策と通常診療の両立というのが、現在のキーワードになっている。両立させながら、しっかり取り組んでいく必要があると思っている。</p>
委員	<p>今後の医療計画の中で、新興感染症対策を明確にしていく必要があるので、取組にあたっては、行政と法人がしっかり連携して、コンセンサスを図っていく必要がある。</p>

委員長	<p>コロナからアフターコロナに移行し、次の感染症対応に向けて今回の状況を検証しながら備えるということが必要。</p> <p>では、引き続き第3期中期目標の評価について事務局から説明をお願いします。</p>
市事務局	<p>資料1～2に基づいて第3期中期目標期間の(1)総評及び(2)評価委員からの意見・今後に向けての提言等について説明。</p>
委員長	<p>全体的に、財務、会計では、「収益、収支」「赤字、黒字」等の表現について、明確にする必要がある。</p> <p>次に、資料2の11ページの提言の部分について、下から3項目めと2項目めについては、将来の再整備のことについての内容となっており、最後の項目は、収支に関する内容を再整備に関する内容が混在しているので、整理が必要である。</p> <p>他に、ご意見はないか。</p>
委員	(なし)
委員長	これで概ね終了となるが、法人から何かご意見はあるか。
法人	(なし)
委員長	事務局からの連絡事項をお願いします。
(3) その他 市事務局	<p>評価結果(案)について、委員長一任のもとで微修正を行い、その後、明石市長に報告し、市の評価結果として確定するとともに法人へ通知する。また、9月議会において評価結果を報告するとともに、市のホームページ等を通じて公表する予定である。</p>
(4) 閉会	以上をもって、第3回評価委員会を終了する。